



長岡市 コンセプトハウス「nagaoka collection」

緑を感じる家。

produced by kaing home
text by MASASHI fujita photo by YOSHIYUKI watanabe

緑を感じるコンセプトハウス

長岡市陽光台。長岡丘陵公園のすぐ近く、自然を豊かに感じられるこの場所に、「コンセプトハウス」[nagaoka collection]は建っています。周囲は、緑に囲まれ、空はどこまでも広く、どこかで開放的。このモデルハウスのテーマは「緑を感じる」「緑と暮らす」。創刊号から取材させてもらっている「カイングホーム」が、どのように、このテーマをカタチにしたのか。編集部は、

期待に胸をふくらませて、一路、長岡までクルマを走らせました。

到着するなり納得しました。「やはり、カイングは凄いな」と。グレーのコンクリート、ダークトーンの外壁。程よく調和したモダンな印象。特に目を引くのは、玄関へと続くアプローチ。二枚の分厚いコンクリートの壁の中央は、まるで「額縁のように」、あるいは「スクリーンのように」、四角く切り抜かれてます。「凄くスタイリッシュだなあ。でも、その狙いは？」という感動と疑問を胸に秘めたまま、リビングダイニングに足を踏み入れたとき、その疑問は氷解しました。切り抜かれたスクリーンの中に収まった美しい自然の景色。なだらかな丘陵と緑のグラデーション。それは、まさに「風景画」。そのための、モニュメントなのか。

インテリアショップ「OWI(オウル)」を手がけるなど、住宅デザインにライフスタイルの視点からトータルで提案する「カイングホーム」らしいデザイン性。緑の景色の切り取り方には、相当こだわっています。「デザインの良さ」と「重厚感」が見事に融合したハイクラスな生活を感じさせてくれる、そんなコンセプトハウス。東南アジア産チーク材による落ち着いた床の雰囲気と、統一感を損ねないオリジナルの棚や家具。雪深い土地にあわせた空間づくり。綿密な構造計画と、見所満載です。編集部としては「カイングホームの新しい住まいづくり。そのイメージを見た」。そんな感想です。是非、このコンセプトハウスで、緑を感じる、デザインを体感してみませんか。次頁のナビゲーターは、編集スタッフ小山です。



住宅は常に周辺環境とともにあります。「そこがどんな街か」「家の隣には何があるか」「四季を通じて気候や気温はどうか」などなど。そういった様々な条件要素を、ただの制約としてマイナスに捉えるのではなく、住宅のストロングポイントに昇華させるからこそ本当の「デザイン力」だとクラス編集部は思います。今回の「nagaoka collection」の

- 外部仕上げ
外壁>ガルバリウム鋼板
屋根>ガルバリウム鋼板
- 内部仕上げ
壁>塗装、クロス貼
天井>塗装、クロス貼
床>無垢フローリング(オーク)

所在地 長岡市 / 構造 木造軸組工法 / 敷地面積 227.05m²(68.00坪) / 延床面積 112.20m²(33.86坪) / 工事期間4ヵ月 / 竣工2011年4月